



「水田センサ」・「自動給水栓」を活用した遠隔操作による
水管理実証プロジェクトの実施について（お知らせ）

国家戦略特区の指定以降、新潟市では大手企業や農業ベンチャーと連携し、革新的技術を活用したICT農業を積極的に展開しています。

このたび、稲作の大規模省力化を図るため、ICTを活用した水田のモニタリングに加え、新たに遠隔操作で自動給水を行う実証プロジェクト（別紙概要書 参照）を実施することとなりました。

つきましては、下記のとおりご案内しますので、是非取材いただきたくお願い申し上げます。

記

1 日時

平成30年6月25日（月） 10:30～11:30（受付開始10:00）

※荒天の場合、7月3日（火）同時刻に実施

2 集合場所

新潟市秋葉区大関地内圃場 別紙図面参照

3 連携事業者

積水化学工業(株)、(株)NTT ドコモ、ベジタリア(株)、ウォーターセル(株)、新潟市

4 当日の内容

- ①実証プロジェクトの概要説明
- ②自動給水栓、水田センサの説明・実演
- ③連携事業者のぶら下がり取材

5 その他

・取材を希望される場合は「別紙 取材申込書」に必要事項を記載のうえ、お申込みください。

6 お問い合わせ

新潟市農林水産部ニューフードバレー特区課 担当：小出、近

電話 025-226-1864（直通）

別紙 取材申込書

FAX 025-230-0423

新潟市農林水産部ニューフードバレー特区課 行き

「水田センサ」・「自動給水栓」を活用した遠隔操作による
水管理実証プロジェクト 取材申込書

お手数ですがご取材いただける場合は、下記に必要事項をご記入のうえ、

6月22日(金)17時までにFAXにてご返送ください。

貴社名 : _____

御所属 : _____

御芳名 : _____

(スチールカメラ 台 / ムービーカメラ 台 合計 名) _____

T E L : _____

携帯(中止時の連絡用): _____






F A X: _____

平成 30 年 6 月 21 日

1 趣旨

- ・平成 27 年度～28 年度に（株）NTT ドコモ、ベジタリア（株）、ウォーターセル（株）、新潟市で連携協定を締結し、水田センサを活用した「革新的稲作営農管理システム実証プロジェクト」を実施。
- ・市内農業者をモニターとして、水田における水管理（田んぼの見回り）の省力化を図るとともに、水田の見回り回数など最大 6～7 割、平均 3～4 割削減。
- ・本年度は“セカンドステージ”として、水位を 24 時間モニタリングできる「水田センサ」と、積水化学工業（株）の「自動給水栓」を組み合わせ、遠隔操作による水管理を実施するとともに、「クラウド型営農管理システム」により取得データを一元管理することで、稲作の大規模省力化を図る。

2 連携事業者

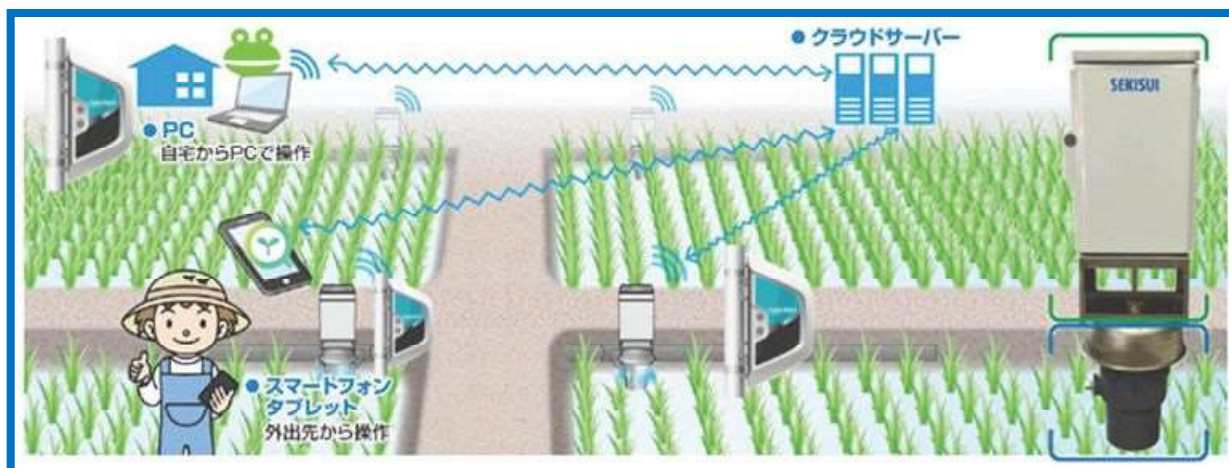
連携事業者	主な役割
積水化学工業（株） 	・自動給水栓の提供
（株）NTT ドコモ 	・水田センサの提供 ・水田センサと水田管理アプリケーションを繋ぐ通信モジュールの提供
ベジタリア（株） 	・水田センサと水田管理アプリケーションの開発 ・水田管理アプリケーションの提供
ウォーターセル（株） 	・クラウド型営農管理システム「アグリノート」の提供
新潟市 	・モニターとのマッチング、実証フィールドの調整、全体の事業調整

3 モニター

- ・法人名：（株）白銀カルチャー 代表取締役 荒木 康男（新潟市秋葉区岡田 370 番地）
- ・経営面積：約 88ha（水稻、大豆、大麦、さといも、えだまめ、ねぎ）

4 実証圃場

- ・新潟市秋葉区内の水田 5 箇所 合計面積 4.2ha の大規模圃場



※（株）白銀カルチャーに設置されている自動給水栓については、農研機構が現地実証実験の一部として取り組んでいるものです。
 ※ 本実証における自動給水栓とクラウド型営農支援システムの連携機能は、農林水産省が進める「革新的技術開発・緊急展開事業（うち経営体強化プロジェクト）」の研究成果を活用し、イーラボ・エクスペリエンスより提供しています。

別紙図面

